

仮想マシンのゲストOS監視エージェント

# ESMPRO/ServerAgent for GuestOS

仮想マシンのゲストOS監視機能を提供し、お客様システムの安定稼働を支援します。ゲストOSにインストールされたESMPRO/ServerAgent for GuestOSがゲストOSの稼働情報を収集し、障害発生時には情報をESMPRO/ServerManagerに通報します。

## 適用効果

### 安定したサービス提供

死活監視機能によりゲストOSのダウンを検出し、マシンダウン発生をシステム監視者に通報できます。  
また、イベントログ監視機能によりゲストOSのエラーイベントを検出し、システムの異常発生をシステム監視者に通報できます。  
障害発生時の素早い対応が可能となり、安定したサービス提供に繋がります。

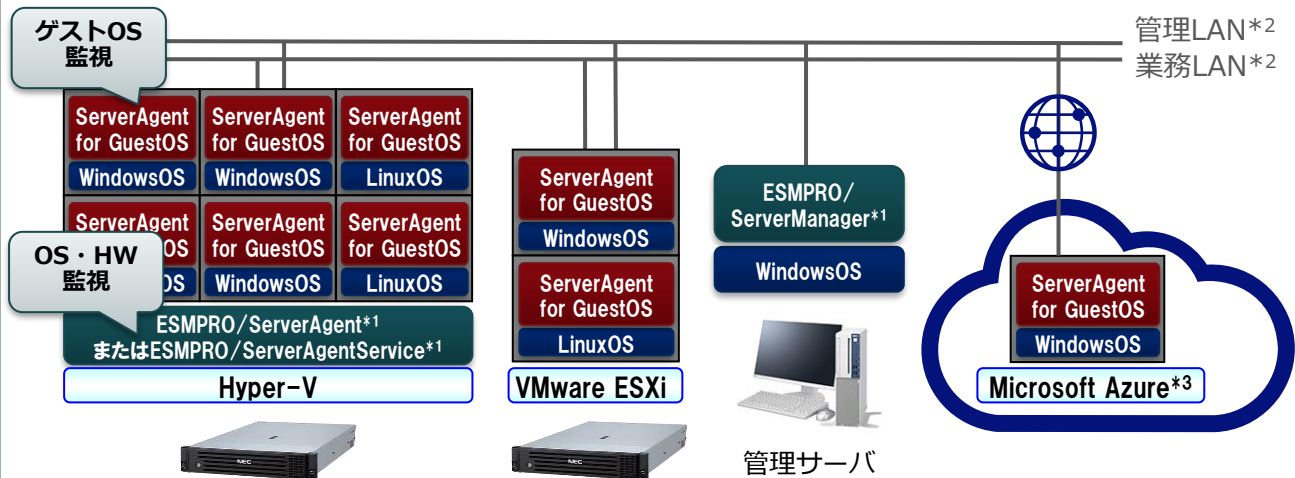
### ゲストOSの稼働状況把握

CPUの負荷率やメモリの使用率、ファイルシステムの空き容量など、ゲストOSの稼働状況を監視するための機能を提供します。  
ゲストOSの稼働状況を把握することで、リソース不足によるシステムダウンを回避し、システムの状態に応じてシステムリソースの配分や投資を計画的に行えます。

### 監視業務の効率化

物理マシン、仮想マシン共にESMPRO/ServerManagerからの一元管理が可能となり、物理環境のOS監視と同じレベルで、ゲストOSの監視が実現できます。  
1つのコンソールでシステムを集中的に監視でき、トラブルの早期発見・対応が可能となります。

## システム構成例



型番	製品名	数量
UL1657-402	ESMPRO/ServerAgent for GuestOS Ver1.4(Windows/Linux) 1ライセンス	3
UL1657-422	ESMPRO/ServerAgent for GuestOS Ver1.4(Windows/Linux) 1サーバ無制限ライセンス	1

\*1: ESMPRO/ServerManager, ESMPRO/ServerAgent, ESMPRO/ServerAgentService は、Express5800サーバに標準添付されているソフトウェアです。詳細は製品ホームページをご覧ください。  
\*2: ネットワーク構成は参考例です。「管理LAN/業務LAN」が同一LANの構成も可能です。  
\*3: ESMPRO/ServerAgent for GuestOS Ver1.4(Windows/Linux) 1ライセンスのみ対応しています。

## 主な採取可能な情報

監視リソース		採取可能な情報
CPU	全体	論理CPUの個数・全CPUの稼動状況・CPU負荷率とその状態
	各CPU情報	負荷率（ユーザモード、特権モード、個々のCPU）・個々のCPUの状態
メモリ		メモリの容量/使用量/使用可能量・ページファイルの容量/使用量
ファイルシステム		容量・空き容量・ドライブタイプ・ファイルシステムタイプ
LAN		インタフェース・タイプ・状態・MTU・物理アドレス
システム情報	ソフトウェア	OS（バージョン・インストール日・説明・プロセス数・スレッド数）/サービス/ドライバ

## 障害通報項目

監視リソース*1	分類	通報タイミング	監視ON/OFF (DEFAULT)
CPU	予防監視	Total、個々のCPUの負荷率を監視し、しきい値を超えた場合に通報	OFF
ファイルシステム	予防監視	空き容量を監視し、しきい値を超えた場合に通報	ON
メモリ	予防監視	メモリ使用量、物理メモリ使用率、Page Fault を監視し、しきい値を超えた場合に通報	OFF
LAN	予防監視	回線障害発生率、送信リトライ数、送信アボート数がしきい値を超えた場合に通報	OFF
	異常監視	廃棄パケットやエラーパケットが多い場合、ネットワーク障害が発生した場合に通報	
イベントログ (syslog)	異常監視	通報対象のイベントがイベントログに登録された場合に通報 ※デフォルトのESMPRO通報項目以外で通報したいイベントは通報対象として登録することで通報が可能	ON

\*1:仮想マシンに割り当てられたリソースを監視します。

## 製品一覧

型番	製品名	希望小売価格	月額標準保守
UL1657-402	ESMPRO/ServerAgent for GuestOS Ver1.4(Windows/Linux) 1ライセンス	40,000円	400円
UL1657-422	ESMPRO/ServerAgent for GuestOS Ver1.4(Windows/Linux) 1サーバ無制限ライセンス	200,000円	1,900円

## 動作環境

ハードウェア		主な対応OS
サーバ	対応仮想基盤の動作要件を満たしているサーバ	Windows® Server 2022 Windows® Server 2019 Windows® Server 2016 Windows® Server 2012 R2 Windows® 11, 10 Red Hat® Enterprise Linux®9.1以降 Red Hat® Enterprise Linux®8.1以降 Red Hat® Enterprise Linux®7.1以降
主な対応仮想基盤	Hyper-V - Windows® Server 2016 Hyper-V - Windows® Server 2019 Hyper-V - Windows® Server 2022 Hyper-V Microsoft Azure*2 VMware ESX - VMware ESXi 6.0, 6.5, 6.7, 7.0 KVM(Kernel-based Virtual Machine) - Red Hat® Enterprise Linux® 7, 8, 9	

\*2:ゲストOS(Windows)のみ対応しています。  
Microsoft Azure上で本製品を使用される場合はUL1657-402をご購入いただく必要があります。

- 対応仮想基盤や対応OSは、順次NECのサポートに合わせて追加します。
- 最新情報は弊社サイト (<https://jpn.nec.com/esmsm/>) でご確認ください。

お問い合わせは、下記へ

## NEC ファーストコンタクトセンター

TEL:0120-5800-72

受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日（祝日、弊社休日を除く）  
番号はよくお確かめの上、おかけください。

- 本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- 本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。
- 本紙に掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものと多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。

日本電気株式会社 〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1（NEC本社ビル）

2023年6月現在